

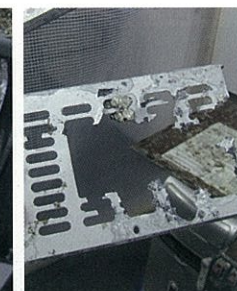
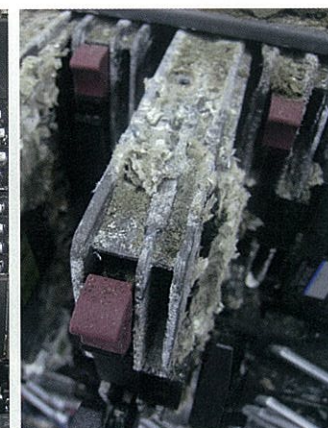
Chapter 2 Salvage

救命がけでデータ救い出した

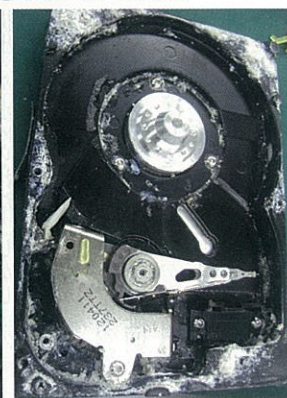
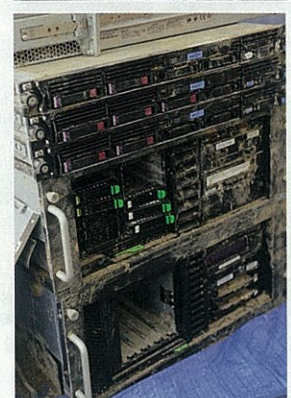


「こんな泥だらけのパソコンは見ただ事がない!」見れば誰しもそう口にするはず。真正銘想定外。正にここまでの酷さは想像もできなかった。だが現実目の前にあるのだ。ここにも想定外では済まされない現実が。素人目にはゴミしか見えない。よもやここからデータが救い出せようとは、誰にも思えなかったに違いない。(写真上)

下の写真は、海水により腐食してしまったサーバー、HDD、プラッターである。これらもどう考えてもデータ復旧は無理そうだが、この病院のサーバーの中には、患者の大事なカルテが収められている。なくなったではすまなかった。データサルベージではこれをも救ったのだ。



下段中の基盤は、本号の表紙で、皆さんに立って頂いている「地面」だ。腐食し、変形してしまっているのが分かるだろう。



もはや想定外ではない。現実だ

2年前に登場いただいた、仙台のRDVシステムズ、松本社長にお話を伺おう。かつての社屋は地震で壊滅的被害を受けた。が、ちょうど震災の数ヶ月前、都心部でも空き部屋があると聞き、移転したばかり。判断が遅ければ今こうして営業してられるか分からないところだった。

「もう、凄いものでしたよ。復興なんてまだまだ先の話です。大変ですよ、こっちは。揺れた時は東京で会議の最中でした。まさか地元仙台が震源地だとは思わなかったですね」

会議でいざ本題に入ろうかという時に揺れた。仙台には社員一人だけ残っていたが電話が繋がらない。心配した知人たちはメールがたくさん飛んで来る……。カップ麺をひと月分買い求め、新潟経由で仙台へ。帰路には18時間を要した。

「私はいいですが、人によっては着の身着のままで放り出され、雪まで降ったのだから堪りませんよね」

多賀城市で津波に遭遇した知人は、屋上で遺書を書き出したという。正に地獄絵図だったのだと思う。

「阪神大震災も見てきましたが、この津波による被害は比較になりません」



以前のRDVシステムズの社屋。2階の全面ガラスが完全に割れ、室内は天井崩れ落ち、床もめくれ上がるという惨状だった。目の前にある山が揺れたのだと言う。

中では、ネットが有意義

さや価値を生むことに多

くの人が気づいた。

商売が、街が止まって

いる。病院ではカルテが

全部流されてしまった。

怪我人、病人の診察もま

まならない。もはや想定

外ではすまされない。嫌

でもこれが現実なのだ。

「皆に見に来てと言っ

ています。テレビで見るだ

けで分かった気になっ

てはいけません」

確かにそうだ。自分の

目で見て確かめないと、

この震災の規模は分から

ない。そして可能ならば

ボランティアに参加して

欲しい。「頑張ろう」では

ない。被災者が頑張らず

にすむよう、我々が動か

なくては。

救わなければゴミ

データ破損。通常であ

ればともかく、今回は手

を挙げる業者も人もほと



店頭の貼紙。この、わずか3行の告知がきっかけで千台ものHDD、いや、千人の想い出と財産が救われたのだ。



株式会社データサルベージ
ソリューション
相沢道男氏

「無償でやらせてほしい。救えるデータがあるはずなんです」

本業であるデータ復旧の技術を活か

仙台に生まれ、今は東京にオフィス

を構えるデータサルベージコーポレ

ーションの阿部社長は胸を痛めた。結果

的には、同社は夏までに千台のサー

バーとパソコンを救った。そうでなけ

ればゴミになっていたものだ。

「てんでこまいでして…」という言葉

に大変さが忍ばれる。震災を知るとす

ぐに帰省し活動を開始。まず行政、病

院に伺い、とにかくデータを救い出し

たいとアピールした。地元で貢献した

という思いももちろんあった。

「無償でやらせてほしい。救えるデー

タがあるはずなんです」

本業であるデータ復旧の技術を活か



株式会社データサルベージ
コーポレーション
代表取締役 阿部勇人氏

「その2日後には河北新報の生活欄に

載りました。2度目は写真付きでの掲

載で反響は大きかったですよ」とは、

仙台支社の相沢氏。阿部社長の右腕だ。

待っていた椅子もなかったのだで

急遽用意した。「お客様がデータ復旧

屋に並ぶなんて前代未聞でしょうね」

と、今では少し笑みもこぼれる。

「NHKに取り上げていただいてから

がまた凄かったです。持ち込まれる

のは一人一台ではなく10台20台。おそ

らく日本で一番ハードディスクを外し

たでしょう。しかし受付からサポート

まで二人しかいないですからね」

合計3度掲載された記事と、テレビ

各局での放映の反響は凄まじかった。